

教科名	国語		科目名 (必)・必選・自選	単位数	3
使用教科書	高等学校国語総合(明治書院)		対 象	1 学年	
科目の目標	①様々な分野の文章に親しみ、筆者や登場人物の意見、心情を理解する。 ②基礎的言語知識を身に付ける。 ③古典の基本的な知識を習得する。		担当者	林田・高橋・小池・山口・和田・市川・渡邊	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> 小説を読み、描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。 常用漢字の読みに慣れ、書けるようにする。 古典に親しむ心を育む。 		(現代文) 小説「羅生門」芥川龍之介 他 (古文) 「兄のそら寝」他 (漢字・語句) 常用漢字の12トライ	
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、表現の特色をとらえる。 文章に対し、自分の考えを持ち、意見や感想を述べる。 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解する。 		(現代文) 評論「水の東西」山崎正和・小説「海の方の子」山田詠美 他 (古文) 「奥山に猫またといふものありて」(「徒然草」) (漢文) 「訓読に親しむ」 (漢字・語句) 常用漢字の12トライ	計39
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> 随筆や評論を読み、筆者の考えをとらえる。 語句の意味を的確に理解し、語彙を豊かにする。 古典作品を現代語訳することができる。 		(現代文) 評論「どうすれば虹の根もとに行けるか」黒井千次 他 (漢文) 「螳螂之斧」他 (漢字・語句) 常用漢字の12トライ	計42
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ①授業に積極的に取り組む姿勢ができていたか。 ②文学作品の読みを通して、筆者や登場人物の心情を理解することができたか。 ③論理的文章を読んで、作者の意見を読みとり、自分の考えを深めることができたか。 ④古典作品に親しむ姿勢ができたか。 ⑤基本的な言語知識が身に付いたか。 				

教科名	国語		科目名 必・必選・自選	単位数	3
使用教科書	高等学校国語総合(明治書院)		対 象	2 学年	
科目の目標	①様々な分野の文章に親しみ、筆者や登場人物の意見、心情を理解する。 ②基本的言語知識を身に付ける。		担当者	渡邊・小池・高橋・林田・長谷川・山口	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	(現代文) ・小説を読み、登場人物の心情ならびに表現の美しさを味わう。 ・評論文を読み、文章構成や筆者の考えを理解する。 (古典) ・物語を読み、古文のリズム、世界を味わう。			(現代文) 中島敦「山月記」 (古典) 『伊勢物語』『筒井筒』
	二学期	(現代文) ・文章表現を学び、「書く」力を養う。 ・文学史について学び、教養を養う。 (古典) ・古文漢詩のリズム、世界を味わう。		計39	(現代文) 多木浩二「世界中がハンバーガー」 内山節「時間をめぐる衝突」 俳句 (古典) 『平家物語』『巴』 唐詩「春望」・「春暁」
	三学期	(現代文) ・文章表現を学び、「書く」力を養う。 ・文学史について学び、教養を養う。 (古典) ・漢文の世界を味わう。			(現代文) 太宰治「富岳百景」 (古典) 「論語」
評価のポイント	①授業に積極的に取り組む姿勢ができていたか。 ②文学作品の読みを通して、筆者や登場人物の心情を理解することができたか。 ③論理的文章を読んで、作者の意見を読みとり、自分の考えを深めることができたか。 ④古典作品に親しむことができたか。 ⑤基本的な言語知識が身に付いたか。				
				計24	

教科名	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">国 語</p>		科目名：必・ <u>必選</u> ・自選	単 位 数	単 位
			古典A		2
使用教科書	標準古典A物語選(第一)		対 象	2 学年	
科目の目標	①古文を読む技術を身に付ける。 ②日本文化に対して興味をもつ。		担当者	小橋	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	古文(説話)を学ぶ 古典の基礎知識 音読 現代語訳 古典の面白さを考える。 昔の人々の生活を知る。			①竹取物語 ②日本の昔話 ③十訓抄 ④古今著聞集
	二学期	古文(随想)を学ぶ 音読 現代語訳 随筆を通して昔の人々の知恵・美意識に触れる。		計26	①枕草子 ②徒然草 ③方丈記
	三学期	和歌を学ぶ 音読 口語訳 昔の人々の考えや美意識に触れる。		計28	①万葉集 ②古今和歌集 ③新古今和歌集
				計16	
評価のポイント	①毎時間授業のプリントに取り組み、提出できたか。 ②意欲的に小テストに取り組み、誤りが訂正できたか。 ③忘れ物をせず、授業に意欲的に取り組んでいるか。 ④辞書を活用できたか。				

教科名		国語	科目名：必(必選)・自選	単位数	単位
			国語探究		2
使用教科書				対象	2学年
科目の目標		①漢字を読む力・書く力、語彙力をつける。 ②小説・詩・短歌・俳句を読み鑑賞する力をつける。 ③表現や発表を通じて、コミュニケーション能力を高める。		担当者	林田
学習内容			時間配当	教材等	
授業の内容と主な教材	一学期	一年生の国語で学習した内容の復習 ・漢字の読みと意味 ・音読 ・意思を伝える ・意思を伝える～話す～ ・文学史～芥川龍之介 ・文法～主語・述語～ ・文法～文の構造～ ・辞書の使い方	計26	自校作成プリント	
	二学期	日本の古典について知る ・古文学習の魅力 ・古文・歴史的仮名遣い ・様々な表記 ・文学史～夏目漱石～ ・同音異義語 ・漢文学習の基礎 ・漢文～訓読の基礎～ ・文学史～石川啄木～ ・漢文～故事成語～ ・ことわざ・慣用句 ・文学史～川端康成～	計28	自校作成プリント	
	三学期	日本の古典について知る ・適切な表現、原稿用紙の使い方 ・古文～助動詞・枕草子～ ・指示語・接続語 ・文学史～谷川俊太郎 ・敬語表現 ・文学史～寺山修司～ ・漢文を読む～漢詩・論語～ ・比喻表現 ・印象を深める表現 ・文学史～金子みすず～	計16	自校作成プリント	
評価のポイント	①遅刻・欠席、忘れ物、居眠り・私語などをせず、きちんと授業に参加できたか。 ②授業内容の理解に努め、真剣にノートを取ったり課題に取り組んだりしているか。 ③様々な活動に、意欲的に取り組んでいるか。				

教科名		国語	科目名 <u>必</u> ・必選・自選	単位数	3	単位
			現代文			
使用教科書		東京書籍「新編現代文B」 浜島書店「いきいきとアライブ国語常識」		対象	3学年	
科目の目標		現代文の読解を通して豊かな感性を養う。現代文の解釈と鑑賞を行いながら日常生活に必要な言語感覚を身に付ける。		担当者	長谷川・山口・和田・山川	
学習内容				時間配当	教材等	
授業の内容と主な教材	一学期	教科書 ・評論 ・小説 副教材 漢字 一般常識		計39	小関智弘「楽に働くこと、楽しく働くこと」 吉本ばなな「みどりのゆび」	
	二学期	教科書 ・小説 副教材 漢字 一般常識			夏目漱石「こころ」	
	三学期	教科書 ・小説 副教材 漢字 一般常識			計42 計24	
評価のポイント	①様々な角度から作品を味わい、豊かな感性を身に付けることができたか。 ②社会に出るために必要な言葉の遣い方や、一般常識が身に付いているか。					

教科名		国語	科目名：必・ <u>必選</u> ・自選	単位数	2	単位
			古典A			
使用教科書		標準古典A物語選(第一)		対象	3学年	
科目の目標		①古文、漢文を読む技術を身に付ける。 ②日本文化、中国文化に対する理解を深める。		担当者	小橋	
学習内容				時間配当	教材等	
授業の内容と主な教材	一学期	古文を学ぶ 古文学習の魅力に気付く。 歴史的仮名遣いを学ぶ。 日本語におけるさまざまな表記に気付く。 日本語のことわざ・慣用句を知る。 古文における助動詞を学ぶ。 枕草子を読む。 漢文を学ぶ 漢文学習の基礎 訓読の基礎			①枕草子 ②故事 休業中の課題 ・竹取物語の特徴 ・伊勢物語の特徴 ・古今和歌集の特徴	
	二学期	漢文を学ぶ 故事成語を学ぶ。 漢詩を学ぶ。 論語を学ぶ。 古文を学ぶ 音読 現代語訳 物語に描かれる人物像を読み取る。 物語が成立した時代背景について理解を深める。		計26	①故事 ②唐詩選 ③思想 (孔子) ④宇治拾遺物語 ⑤平家物語	
	三学期	漢文を学ぶ 書き下し文 訓読 唐詩に対する理解を深める。 中国古代の思想に触れる。			①故事 ②三国志 ③唐詩選 ④思想 (孟子・老子・荘子・韓非子)	
				計28		
				計16		
評価のポイント	①毎時間、授業のプリントに取り組み、提出できたか。 ②確認テストへの取り組みに真剣さが感じられ、誤りを訂正できたか。 ③忘れ物をせず、積極的に学習に取り組んでいるか。					

教科名	<p style="text-align: center;">国 語</p>		科目名: 必・ <u>必選</u> ・自選	単 位 数	単 位 2
使用教科書	教育出版「国語表現 改訂版」		対 象	3 学年	
科目の目標	1 場面や相手に合った表現を使い分けられる。 2 原稿用紙の使い方を習得し、漢字を正確に書いて、文章を完成させることができる。		担当者	長谷川・山川・市川	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一 学 期	日本語の基礎をおさえ、文章の書き方を身に付ける。 ・シンプルで分かりやすい文章を書く。(演習) ・自分の書いた文章を、スピーチで発表する。(演習) 1 文章表現の基礎 2 声の表現(スピーチ)			教科書 ワークシート
	二 学 期	文章の書き方に注意しつつ、自分の意見を書ける。 ・原稿用紙の正しい使い方を身に付ける。(演習) ・自分の意見を伝えるための文章を書く。(演習) 3 自己PRと面接 4 小論文		計26	教科書 ワークシート 辞書
	三 学 期	自分の意見を伝える方法を増やす。 ・読み手を意識して自分の考えを書く。(演習) ・自分の意見をプレゼンテーションで伝える。(演習) 5 エッセイを書く 6 プレゼンテーションの方法		計28	教科書 ワークシート 辞書
評価のポイント	①正しい語句の使い方ができたか。 ②漢字を正確に書くことができたか。 ③文章構成を考え、自分の意見をわかりやすく表現することができたか。 ④原稿用紙の正しい使い方が身に付いているか。 ⑤一度書いた文章を推敲し、文章を完成することができたか。 <評価> 作文、発表、提出物、平常の取り組み(学習態度)、出席、授業準備など				
				計16	